

安全を最優先 225A担当運転士の功績に称賛！

6月30日、のぞみ225号の車内での放火事件から2週間が経過しました。
当該列車の運転士は大阪第二運輸所所属の運転士で、予想困難な突然起きた事象においても冷静な判断で、消火活動により人命救助に尽力し、被害を最小限に抑えました。

まさに、この行動は、「安全最優先」の模範であり、私たちは心から敬意を表すると同時に、会社としても早急に表彰すべきであると思います。

また、乗客の避難・誘導に努めた同列車の車掌、パーサーも同様に表彰すべきと考えます。

当日、マスコミを通じ概要がだんだんとわかってきましたが、当該列車において事件が発生したばかりの時点では、「何が起きたのか」「これから何をすべきなのか」パニックになり、自分ならどうだったのか、パニックに陥らず、冷静に消火活動、人命救助、乗客の避難・誘導できたか、想像するも怖くなるばかりです。

職場では、まだこの事件の詳しい状況、運転士と車掌の取り扱い(運転取り扱い)等は訓練や掲示など含め明らかにしていませんが、今後、この事件から教訓にすべきことを早急に周知しなければならないと思います。

私たちは、一部社員による異常時訓練ではなく、ペーパーテストなど止めて、全乗務員に異常時訓練を実施するよう求めます。